

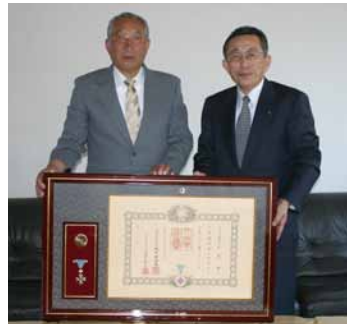
写真左より、釧路総合振興局保健環境部増本弘次部長、片岡義廣氏、内藤英昭氏、長谷川町長

内藤 英昭さん
片岡 義廣さん
野生生物保護功労者表彰
を受賞

平成二十二年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰として町内より内藤英昭さん（姉別北部）と片岡義廣さん（湯沸）の二名が財団法人日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

内藤英昭さんは、昭和二十九年から五十五年間にわたる有害鳥獣駆除の取り組みや、平成九年からの鳥獣保護員としての傷病鳥獣の保護活動等が認められ受賞となり、「行政や猟友会の会員の協力で最高の勲章を頂いた。」とよろこびを語られました。

片岡義廣さんは、昭和六十年から町内におけるエトピリカの繁殖状況等の調査活動や、調査データを環境省へ提供するなどの野生生物保護行政への協力が認められ受賞となり、「まだ調査活動の道半ば、これからも表彰を励みに活動したい。」と抱負を語られました。



危険業務従事者叙勲
近藤 勲さん
瑞宝双光章（消防功労）
を受章

近藤勲さん（暮帰別）は、釧路東部消防組合発足年である昭和四十九年から平成十七年まで、三十年間の永きにわたり消防吏員として活躍されました。

副署長を七年間、署長を九年間務められ、その間、消防司令長として八年間務められた功績が認められ、危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

在職時には、地域消防団員を始めとする民間防火組織の指導育成、部下職員の指導育成、消防技術の向上に努められ、幼年消防クラブの発足にも取り組み、地域住民の自主防火意識の高揚に貢献されました。

六月七日、町長室を訪れ、「同僚や町民の皆様が協力があつてこそこの受章と思う」と受章に際してのよろこびを語られました。

ご寄贈ありがとうございます



五月二十四日
雪田タイヤ商会
代表 雪田敏三様

茶内保育所の老朽化した遊具の代替を目的として雪田タイヤ商会の雪田竜也さんご夫妻作製による、「アスレチック複合遊具（滑り台、ジャングルジム、ネットクライム一体式）」が浜中町に寄贈されました。

保育所の子どもたちも、元気に楽しく遊んでいます。



五月二十日
釧路自動車販売店協会
会長 池田 総様

釧路自動車販売店協会の緑化事業活動の一環で、地球温暖化防止、二酸化炭素の削減を目的として、「エンヤマザクラ 十本」が浜中町に寄贈されました。

五月二十七日に「MOI T T O かせて」敷地に植樹されました。成長と開花が楽しみです。

災害時要援護者の一時避難のための施設の使用に関する協定調印式

らの避難が可能となりました。添われる家族の方の避難についても負担軽減を図ることが出来るようになり、また一歩、浜中町の防災対策が進展しました。



災害時要援護者の一時避難のための施設の使用に関する協定書調印式

五月二十六日、「災害時要援護者の一時避難のための施設の使用に関する協定書」の調印式を社会福祉法人浜中福祉会で行いました。今までは、介護を必要とする高齢者の方も津波警報などで避難される際は、一般の避難施設へ一時避難されていましたが、介護設備などが整っていないため、ゆつくり安心して休んでいたことが出来ませんでした。この度、町と財団法人浜中福祉会（安藤義秋理事長）が協定を取り交わし、今後は、特別養護老人ホーム・ハイソ野いちごで、介護を受けながら

茶内商店会創立50周年



茶内商店会が創立五〇周年という大きな節目を迎えました。五月三十日、茶内コミュニティセンターで創立五〇周年を記念する祝賀会が開催され、加盟十四店から二十名の会員が出席し、来賓の松本副町長、栗本商工会長からの祝辞の後、商店会の発展に尽力された方々へ功労者表彰を行いました。今後も、茶内商店会会員はもとより、茶内地区、強いては浜中町の発展のため尽力することを誓い合い、懇親を深めていきました。また、節目の年を祝い茶内商店会の歴史を刻んだ記念誌を発行しました。

礼儀正しいビジネスマンを育成 接客マナー研修会



本年度、町内企業に就職された新人社員の方、また、就職後数年働いていてビジネスマナー研修などを受けたことの無い方を対象とした『接客マナー研修会』が浜中町商工会主催により五月二十四日に開催され、二十一名の方が参加しました。全日空の客室乗務員などの経歴を持つマナーインストラクターの小川睦子さん（株コム）を講師に迎え、正しいおじぎとあいさつ、名刺交換のマナー、ビジネス電話の対応などを学びました。この研修の成果を職場で活かして活躍を願います。

はまなかを火事から守ります！ 幼年消防クラブ入会式



「子ども達に火遊びをしないよう、大人達にタバコの投げ捨てをしないよう呼び掛け、町から火事が無くなるようにがんばります！」と元氣いっぱい誓いの言葉をみんなで述べました。火災予防パレードや、防火演技でのみんなのりりしい姿を期待します。

今年も、霧多布保育所の児童十六名、茶内保育所の児童三十二名が幼年消防クラブに入会しました。五月二十五日に両保育所で入会式が行われ、消防署長より辞令を受け取り、



各地域で運動会が 開催されました！

わえます!?」など地域性やオリジナリティ溢れるものが多く、参加者も応援する方も笑顔が絶えない一日でした。

また、昨年小学校が閉校した貴人地区では、地域行事を守ろうと、地域住民の手による運動会が五月二十九日に開催され、青天にも恵まれ賑やかな一日となりました。



西門朱別連合大運動会

六月五日の西門朱別、茶内第一、浜中小学校を皮切りに、町内の各小・中学校で運動会が開催されました。

取材させていただいた「西門朱別連合大運動会」では、その名のとおり保育所・小学校・地域住民すべてが参加できる運動会で、競技種目も「ロールころがし」や、「○○喰い競争」（食べ物以外もく



貴人運動会

大きなホッキを宝探し はまなか渚の潮干狩り体験



浜中町の観光資源開発と水産物流通促進を目指し、浜中漁業協同組合と浜中町観光協会が手を組み、ホッキの潮干狩り試験体験が五月三十日に水取場の海岸で開催されました。

十勝管内よりモニターツアーとして参加された約四十名と、釧路管内を中心とした観光事業者など約四十名の方々が、バケツと熊手を手にホッキ掘りを体験しました。

事前に説明された「ホッキ貝のいる目印の穴を探し、熊手で掘り当てる」この作業に子どもからお年寄りの方まで夢中に取り組んでいました。

浜中消防団総合演習開催



五月二十三日、町内の消防団が一堂に会し、平成二十二年消防団総合演習が開催されました。

役場駐車場から総合演習会場の霧多布スポーツ広場まで分列行進を行った後、各分団による技能競技大会が開催されました。

霧雨の降る肌寒い天候の中での競技でしたが、団員の方の災害から住民を守る消防使命が強く伝わる競技でした。

結果は、第四分団（散布地区）が二〇秒六三という好記録で一位となりました。

一森林は自然の貯金箱 湯沸岬で植樹祭



五月三十一日、湯沸岬において町主催の「第十六回浜中町植樹祭」と、浜中漁業協同組合女性部（三浦敬子部長）主催による「お魚殖やす植樹運動」が同時開催されました。

当初予定していた開催日が雨天のため延期されたものの、町内各自治体・町内会など十九団体を一四八名と多くの方々にご協力をいただき、グイマツ四〇〇本、ミズナラ四〇〇本を植樹しました。

緑と漁業資源を次世代に引き継ぐ大きな役割を果たしました。